

## 第62回試験研究成果発表会(野菜(露地野菜))発表概要

【動画配信期間】 令和7年3月31日(月)～令和8年1月5日(月)

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

### 発表1 成果発表

どうする？台風時のネギ倒伏被害対策 Part①事前対策の優先度

東総野菜研究室 大川佳織

ネギでは台風による被害の一つとして、倒伏があります。あらかじめ土寄せをしておくことで、倒伏をある程度軽減できますが、台風前の限られた時間の中、どの圃場を優先して対策すべきでしょうか。本発表では、どのような条件で倒伏被害が大きくなりやすいか、品種・大きさ・角度といった要因についてご説明します。そこから、台風前の土寄せ優先度の判断方法を紐解いていきます。



土寄せによる倒伏防止作業

### 発表2 成果発表

どうする？台風時のネギ倒伏被害対策 Part②事後ネギ直しの優先度

東総野菜研究室 大川佳織

台風によるネギ倒伏後には、倒れたネギを1本ずつ手作業で起こす「ネギ直し」が行われます。しかし、これには多大な労力を要するため、必要性の高い圃場を優先し、効果の少ない圃場ではネギ直しを行わない判断も重要です。本発表では、Part①でご紹介したネギの回復遅延要因から、ネギ直しの優先度を判断する方法をご紹介します。また、「いつするべきか」や「収穫物の曲がり減るか」等のネギ直しのよくある疑問についても考えていきます。



ネギの倒伏被害

### 発表3 成果発表

ネギ黒腐菌核病に対するセル苗灌注処理の効果低下と大量降雨との関係及びその対策

病理昆虫研究室 横山 とも子

ピラジフルミド水和剤（パレード20フロアブル）の定植時の苗灌注処理は、ネギ黒腐菌核病に対する最も効果的な防除対策として広く普及しています。しかし、防除効果が低下することもあり、その要因として大量降雨との関係が考えられました。そこで、人工的に大量のかん水を行い、防除効果が低下するか確認しました。また、大量降雨後に追加で処理する薬剤として、耐性菌発生のリスクを考慮し、パレードとは別系統のモンガリット粒剤を選抜しました。大量灌水後に同薬剤を処理することで防除効果の低下を防ぐことができたので、紹介します。



発病株の様子



冠水した圃場で灌注処理の効果の低下

### 発表4 成果発表

腋芽処理の簡略化によるスイカの省力整枝法

東総野菜研究室 田村 創

スイカの地這栽培において整枝作業は、果実肥大や品質を安定させる効果がありますが、習得に熟練を要し、大きな労力を要します。一方で、産地では雇用導入による規模拡大が進み、本作業の省力化や簡略化が一層求められています。そこで、整枝作業のうち腋芽の処理に着目し、これを簡略化することによる整枝作業の削減効果と生育・果実品質に与える影響を明らかにしたので紹介します。



スイカの整枝作業

**発表5** 成果発表

あなたの圃場の定植適期は？

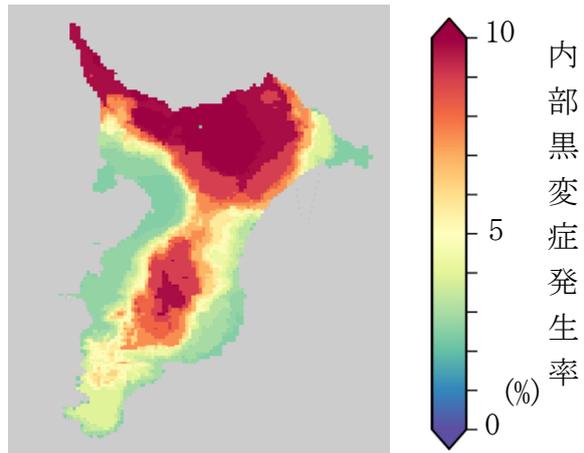
～結球内部障害発生リスクを考慮した加工・業務用キャベツの定植適期判断～

東総野菜研究室 鈴木 結花

加工・業務用キャベツでは、1～2月には内部黒変症、4月には抽台が問題となります。これらの結球内部障害の発生リスクを考慮した定植時期、圃場、品種、収穫時期の選択による良品出荷が求められます。そこで、県内で主に栽培されている4品種について、県内各地域に適した定植時期及び収穫時期をご紹介します。



内部黒変症



氷点下遭遇日数及び結球重から推定した内部黒変症発生危険度マップ

**発表6** 成果発表

10月どり秋冬ダイコンの優良品種の選定 ～第71回千葉県野菜品種審査会～

東総野菜研究室 田村 創

千葉県の10月中下旬に出荷するダイコンの初秋どり栽培では、8月下旬に播種し、高温下で生育することから根部の形状不良や生理障害、病虫害が発生し、問題となっています。そこで、第71回千葉県野菜品種審査会（ダイコンの部）において本作型に適する品種を選定したので紹介します。



高温・乾燥で発生が多いコブ症



審査会に出品・展示されたダイコン